

平成 23 年 8 月 1 日

# 区民へ放射線の正確な情報を提供

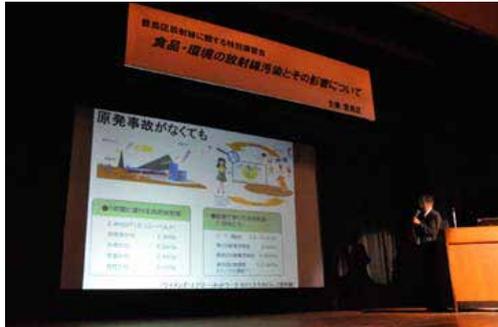
## ～ 放射線に関する講演会 開催 ～

本日、豊島区において「放射線に関する講習会『食品・環境の放射能汚染とその影響について』」が行なわれた。

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故に関連して、放射線への区民の関心や不安が高まっている中、豊島区では、区立小中学校と私立幼稚園、私立保育所など 89 施設における大気中の放射線量の測定を行なった。また、区立小中学校の全屋外プール 30 か所、及び学校、公園など 9 施設の土壌・砂場について、放射能測定を実施している。これらの測定結果の報告を含め、放射能汚染とその影響について正確な情報を提供し、区民の健康への不安を払しょくすることを目的としている。

講師は聖徳大学人間栄養学部教授の林徹氏。林氏は専門家の立場から食品・環境の放射能汚染が健康に及ぼす影響について語った。

講演会には、放射線汚染とその影響に関心の高い一般区民ら約 185 名が集まり、熱心に講義に耳を傾けていた。

日 時	平成 23 年 8 月 1 日（月曜日）午後 6 時 30 分～8 時 30 分	
場 所	区民センター6階 文化ホール（東池袋 1-20-10）	
主 催	豊島区	
当日の様子 参加者の声 など	<p>会場の区民センターには一般区民らが多数詰め掛け、ほぼ満員になった。</p> <p>環境課長による「区内放射線測定結果」の報告においては、放射線測定の実施施設を増設した経緯や、数値の報告及び説明を行なった。</p> <p>林徹氏の特別講演は、豊島区の放射線計測結果を踏まえ、「結論から言って、豊島区の数値では安心して生活してください。」から始まった。「放射線の種類」「単位」といった基礎的な知識のほか、放射能に汚染された食品を摂取した際がんになる発生率などを数値を挙げ解説した。</p> <p>講義後の質疑応答では、質問が多数寄せられ、放射能汚染とその影響に関する区民の関心の高さがうかがえた。</p>	
補 足 事 項	区放射線測定結果については、区公式ホームページ「放射線独自測定の充実について」( <a href="http://www.city.toshima.lg.jp/kankyo/022724.html">http://www.city.toshima.lg.jp/kankyo/022724.html</a> )を参照	
写 真 *写真はメ ールで送り ます	講演する林氏 1 	講演する林氏 2 
問 合 せ	(放射線測定結果について) 環境課 (放射線が健康に与える影響について) 健康推進課 (放射線の全般的なことについて) 危機管理担当課	